

—おめでとうございます—

平成16年春・秋の叙勲、危険業務従事者叙勲で、各分野における功労者として8名の方々が、晴れの受章の栄に浴されました。

受章された方々の栄誉をたたえ、叙勲祝賀会が12月7日、パレスリゾート白石蔵王で催され、約350人の参加者が受章を祝いました。

春の叙勲・旭日小綬章



佐藤 孝一氏
【産業功労】(大手町)

平成4年に白石商工会議所会頭に就任以来、11年の永きにわたり地場産業の育成、地域経済の発展のためご尽力されました。また、平成15年からは名誉会頭として現在もご活躍されております。

秋の叙勲・旭日小綬章



長澤 博氏
【地方自治功労】(寿山)

昭和49年に白石市議会議員となられて以来、通算7期25年の永きにわたり奉職されました。平成3年には白石市議会副議長の要職を務め、市勢の発展と住民福祉向上のためご尽力されました。

秋の叙勲・瑞宝双光章



宮城 秀文氏
【警察功労】(沢端町)

昭和44年に白石警察署警察医となられて以来、35年の永きにわたり地域安全のためご尽力されました。また、現在も市民の健康保持、増進のためご活躍されております。

春の叙勲・瑞宝単光章



太田 征男氏
【郵政事業功労】(田町)

昭和37年に鎌先郵便局に勤務以来、37年の永きわたり奉職されました。この間、白石郵便局課長代理、仙台中央郵便局課長代理などの要職を務められ、地域住民の生活向上のためご尽力されました。

危険業務従事者叙勲・瑞宝単光章



中沢 孝顕氏
【警察功労】(外川原)

昭和23年に白石警察署巡査となられて以来、37年の永きにわたり奉職されました。この間、宮城県警本部警部補、仙台東警察署警部の要職を務められ、犯罪防止と地域住民の生活安全確保のためご尽力されました。

秋の叙勲・瑞宝単光章



佐藤 昇氏
【統計調査功労】(白川津田)

昭和26年から宮城県各種統計調査員をはじめ、国勢調査員などを現在まで53年の永きにわたり務められました。豊富な経験と統計知識により、地域の基礎資料となる正確な統計調査のためご尽力されました。

秋の叙勲・瑞宝単光章



畑中 一男氏
【消防功労】(斎川)

昭和29年白石市消防団員を拝命以来、45年の永きにわたり消防団員としてご活躍されました。この間、分団長、副団長、団長の要職を歴任され、団員の指導育成と市民の生命、財産保全のためご尽力されました。

秋の叙勲・瑞宝単光章



佐藤 三男氏
【消防功労】(大鷹沢大町)

昭和27年白石市消防団員を拝命以来、42年の永きにわたり消防団員としてご活躍されました。この間、副分団長、分団長、副団長の要職を歴任され、団員の指導育成と市民の生命、財産保全のためご尽力されました。



ヒトの設計図理解できたかな

「ゲノム塾」開催

11月28日、碧水園で「生命文化ゲノム塾・ゲノムってなあに?」と題した講演会が開催されました。

講師を務めていただいたのは、慶應義塾大学医学部教授で、遺伝子学の世界的権威である清水信義先生。

清水先生からヒトの設計図(遺伝子学ではゲノム)について、プロジェクトを使って分かりやすく講義いただきました。

約150人の聴講者は、ゲノム解読研究が基礎医学や臨床医学、さらには21世紀の医療・バイオ産業にも多大なインパクトを与えていることに感銘を受けた様子でした。



▲講師を務めた清水信義先生

▶講演の最後には、清水先生が作詩した「私のゲノムは核の中…」で始まる、めだかの学校の替え歌「ゲノムの歌」を大鷹沢小学校の子どもたちと合唱して、ゲノムについての理解を深めました。



婦人会があさくらホームを訪問



11月17日、白石市婦人会の皆さん20名があさくらホームを訪問し、入所者や通所者など約60人を前に、歌や踊り、ダンスなどを披露しました。婦人会の皆さんは、平成11年から福祉施設を定期的に訪問し、入所者たちと一緒に体を動かすなど、楽しく交流しているとのことでした。

「わらしこまつり」開催



子どもたちに昔の遊びを体験させようと、児童館や母親クラブ、地域の父兄などが企画して12月4日、中央公民館で「わらしこまつり」が開催されました。参加した約200人の子どもたちは、遊び方を教わりながら、まりつきやこま回し、だるま落としなどを親子で楽しんでいました。

「名医」さんが診察しました 「おもちゃの病院」開院

白石工業高等学校機械部の皆さんによる「おもちゃの病院」が、今年も11月23日と27日の両日、いきいきプラザに「開院」しました。



会場にはミニカーやキーボードなど、電池やゼンマイで動くおもちゃが次々と持ち込まれ、配線回路のチェックやハンダ付けなどの「治療」が手際よく進められていました。

同校機械部部長の泉川友宏さんは、「日ごろの学習や部活動が役に立ってうれしいです。」と満足そうに話していました。

人気の韓国料理を学びました 国際料理講習会



11月18日、ボランティアやまぶき会の協力で、市国際交流協会主催の国際料理講習会が、韓国からの留学生の奥様、黄信愛(ファン・シンエ)さんを講師に招き開催されました。

講習会では、イカやエビ、ニラなどが入ったお好み焼き「チヂミ」と、牛バラ肉を調味料やおろし梨などで味付けした焼き肉「プルコギ」の韓国料理2品を作りました。

参加した20名の皆さんは、留学生活や韓国の話題などを談笑しながら、楽しく料理法を学んでいました。

やまぶき園利用者と交流会



12月3日、福祉作業所やまぶき園の利用者と地区内のボランティアみなみの会の皆さんが、恒例のお楽しみ交流会を開きました。利用者も心待ちにしていた交流会では、茶菓で会食しながら合唱やゲームなどで楽しいひとときを過ごしていました。